

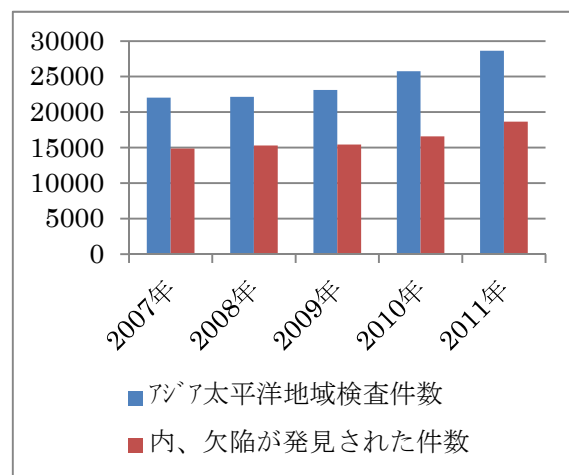
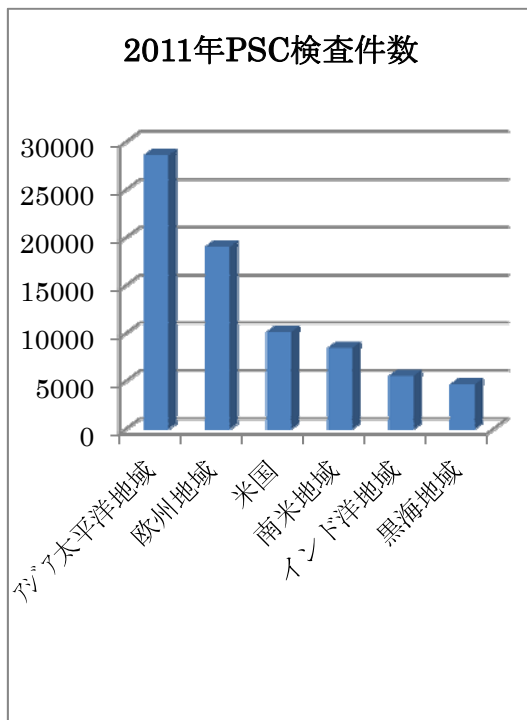
平成25年1月25日
国土交通省海事局

外国船検査数、アジア太平洋地域が世界をリード

地域委員会、新条約対応策定など取組みを強化

日本、韓国、オーストラリア等アジア太平洋地域 18 か国は、24 日までシンガポールで開催された地域協力の委員会で、入港する外国船の検査数で世界をリードしている現状を分析し、他地域に先駆け今夏に発効する海上労働条約の検査手法を策定するなど、取組みを強化することとしました。

18 か国は、一昨年約 2 万 9 千件の外国船検査を行い、その約 65% で欠陥を発見するなど世界をリードする取組みを行っています。地域協力の委員会は、欠陥を有する外国船において平均 5.6 個の欠陥がある現状を分析し、地域の経済発展に伴う円滑な海上貿易を支えるため、欠陥を抱えるリスクの高い外国船を優先的に選択して検査する手法の開発を進めています。また、8 月に発効し、船員の労働条件を規律する海上労働条約に関する外国船検査を適切に行うため、他地域に先駆け、関連する検査手法を策定しました。



問い合わせ先：
国土交通省 海事局 総務課
外国船舶監督業務調整室 伏見、富田
(代表) : 03-5253-8111 (43-177、43-176)
(直通) : 03-3593-0686
(FAX) : 03-5253-1644

検査は、ポート・ステート・コントロール（PSC）と呼ばれ、入港する外国船に対し、その構造設備などが国際条約に定める基準を満足しているかを確認するものです。条約基準に満たない欠陥（下の写真参照。）があれば、これを是正させることで船舶事故の防止による海上安全の確保、海洋環境保護を図るものです。年間約2万9千件の外国船検査の内、約5千件は日本が実施しており、これを全国で142名の外国船舶監督官が行っています。



消火主管の腐食割れ



油水分離器作動不良による排水管汚損

ご参考

PSCの主な地域協力

PSCは、隣接する各国が地域単位で協力して行うことが効果的であるため、欧州で、1982年に地域協力に関する覚書（パリ MOU ; Memorandum Of Understanding）が結ばれたの
に続き、アジア太平洋地域でも、日本の主導により 1993年に地域協力に関する覚書（東京 MOU）が結ばれ、東京に事務局（名称：東京エム・オー・ユー事務局）が置かれています。

① PSC アジア太平洋地域協力（東京 MOU）参加 18 か国

オーストラリア、カナダ、チリ、中国、フィジー、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、バブアニューギニア、フィリピン、ロシア、シンガポール、タイ、バヌアツ、ベトナム

② PSC 欧州地域協力（パリ MOU）参加 27 か国

ベルギー、ブルガリア、カナダ、クロアチア、キプロス、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、アイスランド、アイルランド、イタリア、ラトビア、リトアニア、マルタ、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、ロシア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、英国

PSC アジア太平洋地域協力の委員会の今後の開催予定

第 24 回委員会 日本、2013 年 10 月頃（地域協力 20 周年）